

三嶺の森を守ろう

土砂流出防止マット等を設置

九月二十四日(日)、香美市の三嶺山系・カヤハゲ・みやびの丘でシカの食害により、裸地状態になった場所(写真上作業前)に、ポランテア等により土砂流出を防ぐマットを敷く作業(写真下作業後)や防鹿柵設置作業が行われました。

この取組は、三嶺の森をまもるみんなの会、高知中部森林管理署が主催したもので、一六〇名のポランテアが参加しました。土砂流出を防ぐマットは、ヤシの繊維で作製したもので、現地でマットを敷き、周囲を杭で固定します。(写真左 マット近景)

この作業は、平成二六年から始め、現在は植生の回復が見られています。参加された皆さま、局署員の皆さまご苦労さまでした。



誌上でまなぶ 森林環境教育

インストラクション実技 ある観察会での話し方 ブナの前で

この木はブナです。ブナは大地の母とも言われます。何故、それは毎年、秋に葉がたくさん落ちて、肥えた腐葉土を作り、農耕に最も良い土壌になります。ですから、ブナは大地の母と呼ばれるのです。(写真)



ブナの実

ブナの実(三角)は、あたかもソバのように見えるので、木ソバと呼ばれます。とてもおいしいです。そのため、ヨーロッパではブナの木の下で豚を飼い、豚は木ソバを食べて丸々と太るのです。

ブナの漢字

木偏に無と書きますね。何故でしょう。この木を伐ると、3~4年後には腐ってなくなるからです。

ブナの材質と分布

ブナは堅い材質で、フローリング(床材)に適した材です。ブナの分布は、北は北海道・黒松内、南は、鹿児島・高隅山です。

(森林インストラクター入門
監修林野庁 全国林業改良普及協会)

知って 得る 豆知識

「モミジとカエデ」 って (カエデ科)

秋に葉の色が変わることを紅葉。紅葉する植物と言えばモミジを思い出す人が殆どでしょう。



モミジはカエデ科カエデ属に分類される一部の植物の総称。

モミジの代表と言えばイロハモミジ。かつては、イロハカエデ(写真)とも。

イロハは、7つに裂けた葉を「イロハニホヘト」と。カエデは、カエルの手のような形状から。モミジは、秋に草木の色が変わる古語「もみつ」が、それぞれの植物名の由来。(高知県有用植物ガイドブックより)

10.1付 よろしくお願ひします。

計画保全部野生鳥獣管理指導官 鶴内和典
(前嶺北森林管理署森林技術指導官)

編集後記

ここ数日のうちに、山々の色が秋の色に。自分の体調も季節に合わせようかな。天高く 上手く 越ゆる秋。